

報道機関各位

2008年10月1日

株式会社ジードット

スタンダードセルライブラリ検証ツールの 販売開始に関するお知らせ

株式会社ジードット(本社：東京都中央区、社長：石橋眞一、以下「ジードット」)は本日、米国の Legend Design Technology Inc. (本社：カリフォルニア州 サンタクララ、社長：You-Pang Wei)、以下「Legend 社」)の新製品である、スタンダードセル、IO セル用遅延、タイミングライブラリ検証ツール:Model Diagnoser の販売を開始いたします。

ジードットは以前から、Legend 社の開発した SRAM/ROM 専用のライブラリ自動生成ツール: CharFlo-Memory!等を多数販売し、ユーザのサポートを行ってきました。

この度、同社のスタンダードセルおよび IO セルライブラリのエラーやリスクを検出するツール: Model Diagnoser の販売を行います。

論理合成、自動配置配線、STA などのツールに使われる、スタンダードセルや IO セルのライブラリは、ライブラリ生成ツールと SPICE シミュレータを用いて作成されています。従来の手法では、各セルの入力ピンへの入力波形に対して、出力ピンからの出力波形がどのように変化するか、だけを観測して特性を求めていました。その特性に対して、経験とノウハウにより補間やマージン等の付加を行い、リスクを軽減させてサインオフ用ライブラリを作成していました。

しかしながらプロセスの微細化が進むにつれ、より堅牢な動作領域での高精度な特性解析が求められるようになってきました。チップ性能の向上要求に対して、経験を頼りにした従来の手法では、製造後の動作不良の発生などのリスクが混入する危険性が大きくなりつつあります。

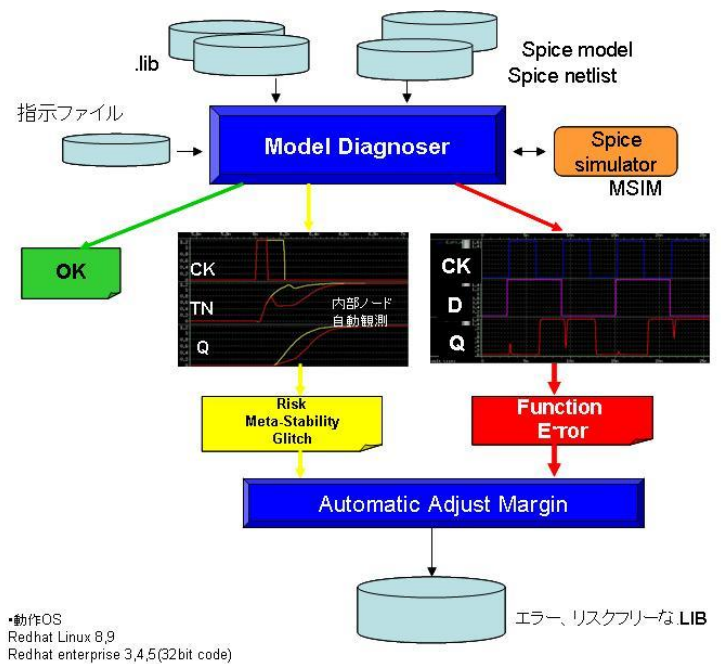
Legend 社の Model Diagnoser は、ユーザが保有しているライブラリのタイミング値や遅延値の不良を検出することができます。ファンクションエラーや内部ノードに発生したグリッチ等のメタ・スタビリティを、特別な設定を行うことなく自動で観測して、ライブラリ内部に潜むリスクをレポート出力します。また検出された不良およびリスクは、オプションの Automatic adjust Margin 機能を使用すると、再特性解析を行い自動修正することができます。ユーザは Model Diagnoser を用いることにより、エラーおよびリスクフリーなライブラリを作ることができます。

ジードットはこの Model Diagnoser を本日から販売開始して、1年間に約 20 セットの販売を見込んでいます。

なお 10 月 15 日、17 日に開催いたします、ジードットのプライベートショウ: JEDAT EDA Fair 2008 で、Model Diagnoser のご説明と展示を行います。

右の図は Model Diagnoser を使用してスタンダードセルライブラリの検証を行う際のフローです。

Model Diagnoser は、ユーザが保有しているライブラリのタイミング値や遅延値の不良を検出することができます。ファンクションエラーや、内部ノードに発生したグリッチ等のメタ・スタビリティを、特別な設定を行うことなく自動的に観測して、ライブラリ内部に潜むリスクをレポート出力します。また検出された不良およびリスクは、オプションの Automatic adjust Margin 機能を使用すると、再特性解析を行い自動修正することもできます。



■ 株式会社ジエダット (Jedat Inc.) 概要

所在地 : 東京都中央区日本橋小舟町 6-6

設立 : 2004年2月2日

資本金 : 760,007,110円

代表者 : 代表取締役社長 石橋眞一

事業内容 : 半導体や FPD 向けの CAD ソフトウェア (EDA) の研究、開発、販売およびコンサルテーション

■ 本件に関するお問い合わせ先

【報道機関】

株式会社ジエダット 経営企画部 太田裕彦

TEL : 03-5847-0312

【お客様】

株式会社ジエダット 営業技術本部 柿木利彦

TEL : 03-5847-0314

以上